

江戸時代の離婚は現代の2倍!? 離縁調停人が人生再出発のお手伝い、承ります。



江戸時代、離婚を望む女たちが駆込む寺があった。その門をくぐれば見えてくるのは女と男のさまざまな愛情、まさかの事情。

明日への希望が満ちてくる、笑って泣ける人情エンタテインメント!!

質素儉約令が発令され、庶民の暮らしに暗い影が差し始めた江戸時代後期。鎌倉には離縁を求める女たちが駆込んでくる幕府公認の縁切寺、東慶寺があった。但し、駆込めばすぐに入れるわけじゃない。門前で意思表示をした後に、まずは御用宿で聞き取り調査が行われるのだ。戯作者に憧れる見習い医者 of 信次郎は、そんな救いを求める女たちの身柄を預かる御用宿・柏屋に居候することに。知れば知るほど女たちの別れの事情はさまざま。柏屋の主人・源兵衛と共に離縁調停

人よろしく、口八丁手八丁、奇抜なアイデアと戦術で男と女のもつれた糸を解き放ち、ワケあり女たちの人生再出発を手助けしていくが、ある日、二人の女が東慶寺に駆込んで来て…。国民的作家、井上ひさしが晩年11年をかけて紡いだ時代小説「東慶寺花だより」を元に、『わが母の記』の原田真人監督が初めて時代劇に挑戦! 現代の2倍あったと言われる江戸時代の離婚をモチーフに、縁切寺に駆込んでくる女たちがさまざまな出会いと別れを繰り返しながら明るく逞しく生きる姿を描く

とともに、人々の暮らしや時代の空気をも映し出した意欲作です。見習い医者であり駆出しの離縁調停人、信次郎を演じるのは唯一無二の俳優、大泉洋。強面ヤクザをやりこめながらも、好きな女性には告白もできない草食男子を愛嬌たっぷりに演じました。一方、夫の暴力から逃げてきた駆込み女、じょごに戸田恵梨香。豪商の愛人・お吟に満島ひかり。更に御用宿・柏屋の主、ベテラン離縁調停人に樹木希林、お吟の旦那には堤真一が配され見事なアンサンブルを見せたほか、内山

理名、陽月華、キムラ緑子、木場勝己、神野三鈴、武田真治、北村有起哉、橋本じゅん、山崎一、鷹赤兒、中村嘉葎雄ら日本を代表する実力俳優が競演。加えて実在した戯作者、曲亭馬琴を山崎努が人間味豊かに演じたことも注目です。圧倒的な映像美と、心地よいテンポに満ちた天衣無縫の全く新しい時代劇が誕生しました。どうぞご期待ください。

駆込み女 ◆ 駆出し男

